

「はやぶさ2」リュウグウからの玉手箱

津田雄一



小惑星探査機「はやぶさ2」のミッションは、「リュウグウ」を探検してかけらを地球に届けること。数々の困難を乗り越えミッションを成功させた「はやぶさ2」の活躍を描く、宇宙科学ノンフィクション。科学が苦手な人にも分かりやすく読めます。(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
みずうみ読書の家 (☎ 76-2100)
※現在改修工事中 [あぶた読書の家]
洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

▲一般▽星落ちて、なお (澤田瞳子)▽ヒポクラテスの悔恨 (中山七里)▽幕末紀 (柴田哲孝)▽レッドネック (相場英雄)▽本日も晴天なり 鉄砲同心つつじ暦 (梶よう子) お探し物は図書室まで (青山美智子)▽俺と師匠とブルーボーイとストリップ (桜木柴乃)▽田舎のポリシェ (篠田節子)▽紙屋ふじさき記念館 カラーインクと万年筆 (ほしおさなえ)▽咲かせたい!四季の宿根草で庭づくり 日陰・酷暑・悪条件を解決 (荻原範雄)

■洞爺総合センター図書室

▲児童書▽七不思議神社 白い影を追え (緑川聖司)▽つかまえるくちばし (とりのくちばし編集委員会著)のぐちようこ絵)▽水そうなしでかんたん!ペットボトルで育てよう 水の生き物 ザリガニ・メダカほか (谷本雄治)▽もりの100かいだてのいえ (いらいとしお)

▲一般▽僕たちの部活動 改革 (神谷拓)▽灰の劇場 (恩田睦)▽去年の雪 (江國香織)▽嘘 Love Lies (村山由佳)▽ホイッスル (藤岡陽子)▽犬 (きみ)ががいるから (村井理子)▽海をあげる (上間陽子)

▲児童書▽スマイルショッ プ (きたむらさとし)▽やとのいえ (八尾慶次)▽りんごだんだん (小川忠博)▽100さいの森 (松岡達英)▽ねこはすっぱり (石津ちひろ著) 松田奈那子絵)▽いし (中川ひろたか)

絵本の玉手箱 9月のおはなし会

■日時 ①9月13日(月)、9月27日(月) 10時～11時30分 ②10月8日(金) 14時～15時30分

■場所 ①あぶた母と子の館②あぶた読書の家
キッズタイム 英語であそぼう! (歌、絵本の読み聞かせ、ゲーム、ダンス) 事前予約が必要

■日時 9月25日(土) 10時～11時

■場所 あぶた母と子の館

■問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)

※マスク着用の参加をお願いします。中止もあり得ます。

地域おこし協力隊



通信

vol.42

今月の
リポーター
新海里織さん



こんにちは。今年の4月に着任し、道の駅あぶたでお世話になっている新海里織と申します。私は苦小牧市の出身で、洞爺湖町は、海と湖を持つという共通点があることや、幼いころからよく訪れていた町だったので、以前からとても親しみがありました。

私は、畑で元気に育っている作物たちに圧倒されながらも「農」について勉強させてもらい、発見や学びの毎日です。

収穫された野菜や果物を食べるときは、作物が成長していく歩みが目に浮かび、食の恵みにより一層感謝し、旬のおいしさをひしひしと感じています。

前職が在宅勤務に移行したことをきっかけに洞爺湖町への移住を考えていました。たが、今回縁があつて地域おこし協力隊として移住することとなりました。

コロナ禍でまだまだ難しい時期が続いていますが、その中で道の駅あぶたへ来てくれる人たちとのふれあいや会話を通じて温かさを感じていきます。

着任してから早いもので、春夏と2つの季節が過ぎ、すでに秋の気配も感じます。近ごろは、道の駅あぶたに野菜を納品している農家さんの畑を見学していて、これまでプランターでの家庭菜園しか経験のない

洞爺湖町のまちや人のあふれる魅力を、たくさんの人たちに知ってもらえるような活動にも力を入れていきたいと思っていますので、どうぞよろしく願います。